

令和2年度地方創生臨時交付金事業 事業効果検証資料

| | |
|--------|--|
| 事業名 | 白瀬南極探検隊記念館トイレ自動洗浄化事業 |
| 事業期間 | 令和2年12月11日～令和3年3月31日 |
| 事業費 | 418,000円 |
| 事業対象 | 白瀬南極探検隊記念館 |
| 実施方法 | 直営 |
| 事業目的 | 白瀬南極探検隊記念館のトイレ内の衛生機器を自動化することにより、施設入館者及び職員の機器への接触機会をなくし、新型コロナウイルスの感染を防止する。 |
| 事業概要 | <p>既存設備の改修にかかる修繕料として実施。</p> <p>男子小便器用自動水栓（既設取替用） @42,000円×3台×1.1=138,600円</p> <p>男女トイレ手洗器用自動水栓（既設取替用） @44,000円×4台×1.1=193,600円</p> <p>上記工費・諸経費（消費税込み）：85,800円 合計418,000円</p> |
| スケジュール | <p>令和3年</p> <p>1月14日 業務執行 1月14日 見積依頼 1月22日 業者決定 → 契約締結 1月22日 着手</p> <p>令和3年</p> <p>3月31日 完了 → 完成検査 3月31日 利用開始</p> |
| 効果検証 | <p>新型コロナウイルス感染症が流行する前までは、清掃委託業者が館内を清掃するのみであったが、新型コロナウイルス感染を防止するため、入館者が手を触れる場所などは、事務員もペーパータオルにアルコールを吹き付けて拭く消毒作業を行うことになった。コロナ禍以後、事務員の作業は大幅に増え、検温作業だけでなく、入館者があった場合、館内の消毒作業、とくにトイレは必ず消毒作業を行うことにしている。</p> <p>男子トイレの小便器と男女の手洗い蛇口のひねる箇所は、これまで手を触れなければ、水が出なかった。</p> <p>今回、手を触れなくても水が出るよう、男子トイレの小便器と男女の手洗い蛇口を自動化したことで、お客様および清掃を行っていた従業員も、手を触れる機会が少なくなったことから、館内での感染リスクが下がり、清掃作業時間も短縮された。</p> |